

プログラム

【第1日目】 12月5日(木)

Room A

Overview Talk **11** 8:30 ~ 9:00

Room A 「2F コンベンションホール 1」

司会：北本 宗子（大阪大学 免疫学フロンティア研究センター）
金 倫基（北里大学 薬学部）

「Microbiota-Host Immunity Interactions in Disease」

OVT11 Intestinal Microbiota and host diseases

○ Hisako Kayama
Osaka University

シンポジウム **11** 9:00 ~ 11:30

Room A 「2F コンベンションホール 1」

司会：北本 宗子（大阪大学 免疫学フロンティア研究センター）
金 倫基（北里大学 薬学部）

「Microbiota-Host Immunity Interactions in Disease」

SMI/JSMI Co-organized Session

S11-1 Immune regulation by the gut microbiome in early development

○ Melody Y Zeng
Weill Cornell Medicine

S11-2 Sucrose Associated Microbiota and Immunity

○ Yoshinaga Kawano
Keio University School of Medicine, JPN, Division of Endocrinology, Metabolism, Nephrology

S11-3 Gut complement induced by the microbiota combats pathogens and spares commensals

○ Meng Wu^{1,2)}、Wen Zheng²⁾、Xinyang Song²⁾、Bin Bao²⁾、Yuanyou Wang²⁾、
Saiyu Hang⁴⁾、Isaac Chiu²⁾、Jeffrey Moffitt²⁾、Ansel Hsiao³⁾、John Mekalanos²⁾、
Christophe Benoist²⁾、Dennis Kasper²⁾

1) Washington University in St. Louis、2) Harvard Medical School、
3) University of California, Riverside、4) Genentech LLC

S11-4 Mapping the T cell repertoire to a model system of the human gut microbiome

○ Kazuki Nagashima
Department of Molecular and Cellular Biology, Harvard University

S11-5 Immune phenotype-guided identification of disease-associated pathobionts in IBD

○ Hiroko Nagao-Kitamoto
Osaka University, IFRc

司会：新蔵 礼子（東京大学）
William W Agace（Copenhagen University）

「Immunoregulation at the surface barrier」

OVT16 Overview of the immunoregulation at the surface barrier

- Hiroshi Ohno
Laboratory for Intestinal Ecosystem, RIKEN Center for Integrative Medical Sciences

司会：新蔵 礼子（東京大学）
William W Agace（Copenhagen University）

「Immunoregulation at the surface barrier」

KAI-JSI Joint Session/ SMI/ JSMI Co-organized Session

S16-1 Characterizing human intestinal immune compartments

- William W Agace
Copenhagen University

S16-2 Interactions between host and pathogens at the barriers

- Cevayir Coban
The University of Tokyo

S16-3 Microbiome Therapeutics for Inflammatory Disorders and Cancer

- Sin-Hyeog IM^{1,2)}
1) Pohang University of Science and Technology (POSTECH)、 2) ImmunoBiome Inc.

S16-4 Patient-donor microbial similarity and donor-derived species contribute to the outcome of FMT in ulcerative colitis

- Dai Ishikawa^{1,2)}
1) Department of Gastroenterology, Juntendo University School of Medicine、
2) Department of Regenerative Microbiology, Juntendo University School of Medicine

S16-5 Mucosal protection by IgA antibodies

- Reiko Shinkura
The University of Tokyo, IQB

Room G

ランチョンセミナー 1 11:40～12:30

Room G 「1F 107」

司会：仲瀬 裕志（札幌医科大学医学部 消化器内科学講座）

LS1 多様化する潰瘍性大腸炎治療と IL-23p19 制御の位置づけ

- 新崎 信一郎（しんざき しんいちろう）
兵庫医科大学医学部 消化器内科学講座

共催：持田製薬株式会社

第 1 会場 (Room E)

ランチョンセミナー 2 11:40～12:30

第 1 会場 (Room E) 「1F 102」

司会：金井 隆典（慶應義塾大学医学部 消化器内科）

LS2 潰瘍性大腸炎治療における新しい選択肢 - ウパダシチニブとリサンキズマブ -

- 小林 拓（こばやし たく）
北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター

共催：アツヴィ合同会社

一般演題 1 16:00～16:50

第 1 会場 (Room E) 「1F 102」

司会：井戸 章雄（鹿児島大学大学院 消化器疾患・生活習慣病学分野）
小玉 尚宏（大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学）

「肝臓疾患と病態研究」

01-1 アンジオテンシノゲン抑制はアルコール関連肝臓および筋肉損傷を同時に軽減する

- 車 招恵（しゃ しょうてい）¹⁾、袁 源²⁾、肖 佳¹⁾
1) Department of Metabolic and Bariatric Surgery, The First Affiliated Hospital of Jinan University, Guangzhou, China.
2) Aier School of Ophthalmology, Central South University, Changsha, China.

01-2 空間オミクス解析による PD-L1 陽性腫瘍関連マクロファージと CD8T 細胞の近接性と肝癌進展機構の検討

- 野阪 拓人（のさか たくと）、大谷 昌弘、山下 順貴、村田 陽介、赤澤 悠、田中 知子、高橋 和人、内藤 達志、中本 安成
福井大学医学系部門 内科学（2）分野

01-3 自己免疫性肝炎の病態解明 一制御性T細胞を介した新たな分子メカニズムー

○吉田 晋也 (よしだ しんや)¹⁾、里岡 大樹³⁾、池田 真也²⁾、西 清人²⁾、大野 美紀子²⁾、
稲富 理¹⁾、平田 多佳子³⁾、安藤 朗¹⁾、西 英一郎²⁾

1) 滋賀医科大学 内科学講座 (消化器内科)、2) 滋賀医科大学 薬理学講座、
3) 滋賀医科大学 生命科学講座 (生物学)

01-4 脂肪性肝疾患におけるトリプトファン代謝の検討

○相馬 郷 (そうま こう)¹⁾、川口 章吾²⁾、飯野 勢¹⁾、佐藤 諭¹⁾、吉田 健太¹⁾、平賀 寛人¹⁾、
立崎 真幸²⁾、瀬谷 和彦²⁾、今泉 忠淳²⁾、櫻庭 裕丈¹⁾

1) 弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座、
2) 弘前大学大学院医学研究科 血管・炎症医学講座

01-5 原発性硬化性胆管炎における特徴的な胆汁酸プロファイル

○茅島 敦人 (かやしま あつと)^{1,2)}、筋野 智久³⁾、福原 誠一郎^{1,3)}、宮本 健太郎⁴⁾、市川 将隆²⁾、
窪澤 陽子^{2,3)}、加藤 元彦³⁾、岩崎 栄典²⁾、本多 彰⁵⁾、中本 伸宏²⁾、金井 隆典²⁾

1) 国立病院機構東京医療センター 消化器内科、2) 慶應義塾大学医学部内科学 (消化器)、
3) 慶應義塾大学医学部内視鏡センター、4) ミヤリサン製薬、
5) 東京医科大学茨城医療センター 中央診療部門 共同研究センター

一般演題 3 17:00 ~ 18:00

第1会場 (Room E) 「1F 102」

司会：安藤 朗 (滋賀医科大学 内科学講座)

仲瀬 裕志 (札幌医科大学医学部 消化器内科学講座)

「上部消化管疾患と臓器連関」

03-1 界面活性剤による好酸球性食道炎モデルにおける2型自然リンパ球の関与

○堀内 知晃 (ほりうち ともあき)¹⁾、佐藤 尚子^{3,4)}、吉留 佑太¹⁾、田原 寛之¹⁾、綾木 花奈¹⁾、
西村 寛之¹⁾、富岡 明¹⁾、栗原 千枝¹⁾、岡田 義清¹⁾、成松 和幸²⁾、高本 俊介²⁾、
富田 謙吾¹⁾、穂苅 量太¹⁾

1) 防衛医科大学校 内科学講座 (消化器内科)、2) 防衛医科大学校病院 光学診療部、
3) 国立研究開発法人理化学研究所 生命医学研究センター 空間免疫制御理研 ECL 研究ユニット、
4) 横浜市立大学大学院 生命医科学研究科 免疫生物学研究室

03-2 乳酸菌由来フェリクロームは食道癌細胞に対して抗腫瘍効果を発揮する

○小西 弘晃 (こにし ひろあき)¹⁾、久野木 健仁²⁾、安藤 勝祥²⁾、上野 伸展^{2,3)}、林 龍之介²⁾、
臺 一樹²⁾、佐藤 充洋²⁾、小林 裕²⁾、坂谷 慧³⁾、高橋 慶太郎²⁾、嘉島 伸²⁾、
盛一 健太郎²⁾、田辺 裕貴²⁾、藤谷 幹浩^{1,2,3)}

1) 旭川医科大学 消化器先端医学講座、2) 旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野、
3) 旭川医科大学 消化器疾患病態学講座

03-3 脳脊髄炎モデルにおける小腸環境、免疫応答の重要性

○鈴木 祥平 (すずき しょうへい)¹⁾、宮本 健太郎^{1,3)}、東條 杏奈¹⁾、筋野 智久²⁾、金井 隆典¹⁾

1) 慶應義塾大学消化器内科、2) 慶應義塾大学内視鏡センター、3) ミヤリサン製薬株式会社

03-4 肥満進展におけるCCR9-CCL25 axisの検討

○春日 良介 (かすが りょうすけ)、中本 伸宏、中代 幸江、岡田 はるか、田淵 貴也、谷木 信仁、
碓井 真吾、尾城 啓輔、金井 隆典

慶應義塾大学医学部内科学 (消化器)

03-5 in vitro 腸管免疫評価モデル構築に向けたヒト iPS 細胞由来濾胞被蓋上皮の作製

○小川 勇 (おがわ いさむ)¹⁾、松浦 友大¹⁾、秋元 美槻¹⁾、小林 千紘¹⁾、中井 孝明²⁾、
岩尾 岳洋²⁾、松永 民秀²⁾、伊藤 佐生智¹⁾、肥田 重明¹⁾

1) 名古屋市立大学大学院 薬学研究科 衛生化学分野、
2) 名古屋市立大学大学院 薬学研究科 臨床薬学分野

03-6 病原性 2 型ヘルパー T 細胞は好酸球性食道炎の寛解期においても食道組織中に残存する

○金子 達哉 (かねこ たつや)^{1,2)}、岩村 千秋^{2,3)}、黒杉 茜^{1,2)}、木内 政宏²⁾、太田 佑樹¹⁾、
對田 尚¹⁾、沖元 謙一郎¹⁾、松村 倫明¹⁾、加藤 順¹⁾、平原 潔^{2,3)}、加藤 直也¹⁾

1) 千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学、2) 千葉大学大学院医学研究院 免疫発生学、
3) 千葉大学 未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点 (cSIMVa)

第 2 会場 (Room F)

ランチョンセミナー 3 11:40 ~ 12:30

第 2 会場 (Room F) 「1F 103」

司会：江崎 幹宏 (佐賀大学医学部 消化器内科)

LS3 サイトカインプロファイルから導く難治性潰瘍性大腸炎の薬剤治療選択

○杉本 健 (すぎもと けん)

浜松医科大学 内科学第一講座

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社 / EA ファーマ株式会社

一般演題 2 16:00 ~ 17:00

第 2 会場 (Room F) 「1F 103」

司会：櫻庭 裕丈 (弘前大学大学院医学研究科 消化器血液内科学講座)
内山 和彦 (京都府立医科大学 消化器内科)

「炎症制御と治療への応用」

02-1 機械学習を用いた血清サイトカイン・ケモカインプロファイルに基づく炎症性腸疾患の新規分類と治療効果予測

○三好 潤 (みよし じゅん)¹⁾、田村 哲嗣²⁾、小栗 典明¹⁾、齋藤 大祐¹⁾、西成田 悠¹⁾、
和田 晴香¹⁾、根本 展希¹⁾、松浦 稔¹⁾、久松 理一¹⁾

1) 杏林大学医学部消化器内科学、2) 岐阜大学工学部電気電子・情報工学科

02-2 禁煙と潰瘍性大腸炎の発症に関する研究禁煙と潰瘍性大腸炎の発症に関する研究

○瀨上 綾子 (ふちがみ あやこ)^{1,2)}、入江 理恵²⁾、市川 武²⁾、松井 成明²⁾

1) 日本医科大学武蔵小杉病院、2) 日本鋼管病院

02-3 ウステキヌマブの潰瘍性大腸炎患者に対する有効性の前向きコホート研究

○加藤 真吾 (かとう しんご)、山鹿 渚、石橋 朗、可児 和仁、屋嘉比 康治、名越 澄子
埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科

02-4 ナトリウム-カルシウム交換輸送体阻害薬はデキストラン硫酸ナトリウム誘発性大腸炎を改善する

- 東 泰孝 (あずま やすたか)
大阪公立大学・大学院・獣医学研究科・予防薬理学教室

02-5 細胞ファイバ技術による間葉系幹細胞由来細胞外小胞の腸炎制御効果と有効性機序の検討

- 永石 歓和 (ながいし かなな)¹⁾、池田 和弘²⁾、川上 和孝³⁾、仲瀬 裕志⁴⁾
1) 札幌医科大学医学部 解剖学第二講座、2) 株式会社セルフファイバ (旧所属)、
3) 東洋紡株式会社、4) 札幌医科大学医学部 消化器内科学講座

02-6 ナイーブT細胞移入腸炎モデルにおける高脂肪食の影響

- 黒沼 智 (くろぬま さとし)¹⁾、竹内 修¹⁾、小林 拓²⁾
1) 北里大学北里研究所病院研究部バイオメディカルラボ、
2) 北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター

一般演題 4 17:00 ~ 18:00

第2会場 (Room F) 「1F 103」

司会：小玉 尚宏 (大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学)
香山 尚子 (大阪大学大学院医学系研究科 免疫制御学分野)

「肝胆・腸疾患と免疫応答」

04-1 原発性胆汁性胆管炎の末梢血における網羅的遺伝子発現解析

- 相葉 佳洋 (あいば よしひろ)¹⁾、植野 和子²⁾、人見 祐基³⁾、杉 和洋⁴⁾、河野 博孝⁴⁾、
長沼 篤⁴⁾、万波 智彦⁴⁾、岩本 諭⁴⁾、古田 清⁴⁾、廣岡 可奈⁴⁾、小森 敦正^{1,5)}、
中村 稔^{1,4,5,6)}
1) NHO 長崎医療センター 臨床研究センター、
2) 国立国際医療研究センター ゲノム医科学プロジェクト、
3) 国立国際医療研究センター 疾患ゲノム研究部、4) NHO 肝疾患ネットワーク PBC 研究班、
5) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科新興感染症病態制御学系専攻肝臓病学講座、
6) 九州大学生体防御医学研究所バイオメディカル情報解析分野

04-2 細胞外 ATP の肝虚血再灌流障害に対する影響の検討

- 吉田 理 (よしだ おさむ)、島本 豊伎、盛田 真、矢野 怜、岡崎 雄貴、今井 祐輔、
中村 由子、渡辺 崇夫、廣岡 昌史、徳本 良雄、阿部 雅則、日浅 陽一
愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科

04-3 急性肝障害の再生修復過程における Gpnmb がエフェロサイトーシスに与える影響

- 熊谷 公太郎 (くまがい こうたろう)、谷山 央樹、豊留 亜衣、坂江 遥、榎 一晃、小田 耕平、
馬渡 誠一、井戸 章雄
鹿児島大学大学院 消化器疾患・生活習慣病学

04-4 クルクミン服用による mRNA ワクチン接種による抗ウイルス免疫力の長期間維持の機序解析

- 林 琢磨 (はやし たくま)^{1,4)}、Young Richard²⁾、小西 郁生^{1,3)}
1) 国立病院機構京都医療センター、2) マサチューセッツ工科大学 / ホワイトヘッド研究所、
3) 京都大学医学部、4) 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)

04-5 エンテロコッカスファージ由来のエンドライシンが移植片対宿主病を抑制する

○藤本 康介 (ふじもと こうすけ)^{1,2)}、植松 智^{1,2)}

- 1) 大阪公立大学大学院医学研究科ゲノム免疫学、
- 2) 東京大学医科学研究所附属ヒトゲノム解析センターメタゲノム医学分野

04-6 潰瘍性大腸炎における炎症性発癌と老化細胞の関与

○太田 真二 (おおた しんじ)¹⁾、須藤 翔¹⁾、村元 龍太郎¹⁾、浅利 享¹⁾、澤田 洋平¹⁾、
雨森 恭子¹⁾、蓮井 桂介¹⁾、立田 哲也¹⁾、川口 章吾²⁾、菊池 英純¹⁾、平賀 寛人¹⁾、
明本 由衣³⁾、櫻庭 裕丈¹⁾

- 1) 弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座、
- 2) 弘前大学大学院医学研究科 バイオメディカルリサーチセンター 血管・炎症医学講座、
- 3) 弘前大学医学部附属病院 病理部

【第2日目】 12月6日(金)

第1会場

一般演題 5 9:00～10:00

第1会場「1F 102」

司会：溝口 充志（久留米大学医学部 免疫学講座）

久松 理一（杏林大学医学部 消化器内科学）

「腸炎制御メカニズムと病態解析」

05-1 潰瘍性大腸炎に対するベドリズムブの治療予後予測に組織好酸球数は有用か。

○高橋 賢一（たかはし けんいち）¹⁾、石田 夏樹¹⁾、武部 友寛¹⁾、浅井 雄介¹⁾、田村 智¹⁾、松浦 友晴³⁾、山出 美穂子¹⁾、山田 貴教²⁾、岩泉 守哉³⁾、濱屋 寧¹⁾、大澤 恵²⁾、杉本 健¹⁾

- 1) 浜松医科大学 内科学第一講座、2) 浜松医科大学 光学医療診療部、
- 3) 浜松医科大学 臨床検査医学

05-2 抗インテグリン $\alpha V\beta 6$ 自己抗体を用いた潰瘍性大腸炎の原因となる腸内細菌の探索

○和田 一成（わだ いっせい）^{1,2)}、森田 直樹¹⁾、高橋 慧崇¹⁾、古谷 弦太¹⁾、中西 梨沙³⁾、栗田 威³⁾、塩川 雅広³⁾、新藏 礼子¹⁾

- 1) 東京大学 定量生命科学研究所 免疫・感染制御研究分野、
- 2) 東京大学大学院薬学系研究科 薬科学専攻、
- 3) 京都大学大学院医学研究科 消化器内科学講座

05-3 *MEFV* 遺伝子変異が日本人の炎症性腸疾患の臨床像に与える影響

○我妻 康平（わがつま こうへい）¹⁾、中村 友哉¹⁾、林 優希¹⁾、齋藤 大祐²⁾、井戸川 雅史³⁾、松浦 稔²⁾、久松 理一²⁾、仲瀬 裕志¹⁾

- 1) 札幌医科大学医学部 消化器内科学講座、2) 杏林大学医学部附属病院 消化器内科、
- 3) 札幌医科大学医学部附属がん研究所 ゲノム医科学部門

05-4 NLRP3の機能喪失はTh2サイトカインの発現増強を介して腸炎を悪化させる

○葉 裕貴（くろみ ひろき）、横山 佳浩、下森 雄太、秋田 浩太郎、林 優希、風間 友江、我妻 康平、石上 敬介、仲瀬 裕志

札幌医科大学医学部 消化器内科学講座

05-5 腸管神経叢を介した大腸炎制御メカニズムの解析

○佐藤 真那美（さとう まなみ）^{1,2)}、長田 律²⁾、橘 直子²⁾、大野 博司²⁾

- 1) 横浜市立大学生命医科学研究科 免疫生物学研究室、
- 2) 理化学研究所生命医科学研究センター 粘膜システム研究チーム

05-6 日本人クローン病におけるパネート細胞異常の解析

○真田 柊介（さなだ しゅうすけ）¹⁾、松沢 優¹⁾、生駒 萌香¹⁾、大嶋 奏羽¹⁾、山本 くらら²⁾、加藤 祐己²⁾、根本 泰宏³⁾、森川 亮³⁾、岡本 隆一³⁾、山口 純司¹⁾、柿沼 晴¹⁾

- 1) 東京科学大学大学院医歯学総合研究科 疾患生理機能解析学分野、
- 2) 東京科学大学大学院医歯学総合研究科 人体病理学分野、
- 3) 東京科学大学大学院医歯学総合研究科 消化器病態学分野

司会：大野 博司（理化学研究所 生命医科学研究センター）

PL1 オートファジー：感染・炎症・老化に対抗する細胞の守護者

- 吉森 保（よしもり たもつ）
大阪大学医学系研究科保健学専攻

教育講演 1 11:10～11:50

第1会場「1F102」

司会：竹田 潔（大阪大学大学院医学系研究科 免疫制御学）

EL1 免疫ゲノム解析によるがん微小環境の免疫抑制機構の解明と治療への展開

- 西川 博嘉（にしかわ ひろよし）^{1,2)}
1) 国立がん研究センター 研究所 腫瘍免疫研究分野、
2) 名古屋大学大学院医学系研究科 微生物・免疫学講座 分子細胞免疫学

ランチョンセミナー 4 12:00～12:50

第1会場「1F102」

司会：仲瀬 裕志（札幌医科大学医学部 消化器内科学講座）

LS4 長期寛解維持のための潰瘍性大腸炎の治療戦略～最適なモニタリング法を考える～

- 竹内 健（たけうち けん）
辻仲病院柏の葉 消化器内科・IBDセンター

共催：田辺三菱製薬株式会社 / ヤンセンファーマ株式会社

若手入門セミナー 1 13:00～13:40

第1会場「1F102」

司会：穂苅 量太（防衛医科大学校 内科学講座（消化器））

YS1 小腸内視鏡からアプローチする小腸病態解明への試み

- 土屋 輝一郎（つちや けいちろう）
筑波大学

若手入門セミナー 2 13:40～14:20

第1会場「1F102」

司会：長谷 耕二（慶応義塾大学薬学部 生化学講座）

YS2 腸内細菌叢 - 宿主間相互作用理解に向けた統合オミクス解析

- 宮内 栄治（みやうち えいじ）
群馬大学生体調節研究所

司会：金井 隆典（慶應義塾大学医学部 消化器内科）

EL2 腸内細菌叢研究と炎症性腸疾患治療・予防への接点

- 内藤 裕二（ないとう ゆうじ）
京都府立医科大学・大学院・生体免疫栄養学

第2会場**一般演題 6 9:00～10:00**

第2会場「1F 103」

司会：上村 修司（鹿児島大学大学院 消化器疾患・生活習慣病学）
佐藤 尚子（理化学研究所 生命医科学研究センター 空間免疫制御 ECL 研究ユニット）

「消化器免疫研究最前線」**06-1 CCR9 発現による CD4⁺CD8a⁺ T 細胞の分化誘導機構調節**

- 筋野 智久（すじの ともしさ）¹⁾、大野 恵子²⁾、宮本 健太郎^{2,3)}、谷内 一郎⁴⁾、金井 隆典²⁾
1) 慶應義塾大学 医学部 内視鏡センター、2) 慶應義塾大学 医学部 消化器内科、
3) ミヤリサン製薬、4) 理化学研究所 免疫転写制御チーム

06-2 大腸上皮バリア機能におけるムチン硫酸化の役割についての検討

- 奥村 龍（おくむら りゅう）^{1,2)}、岡本 翔太^{1,2)}、竹田 潔^{1,2)}
1) 大阪大学大学院医学系研究科 免疫制御学、2) 大阪大学免疫学フロンティア研究センター

06-3 クローン病の病態に寄与する組織常在性記憶 T 細胞の転写制御機構の解明

- 村上 真理（むらかみ まり）、荒瀬 充、竹田 潔
大阪大学大学院医学系研究科免疫制御学

06-4 IL-10 シグナルによる線維芽細胞活性制御を介した腸管恒常性維持機構

- 香山 尚子（かやま ひさこ）²⁾、伊藤 隆喜¹⁾、竹田 潔¹⁾
1) 大阪大学大学院医学系研究科、2) 大阪大学高等共創研究院

06-5 粘膜サイトカイン発現の推移からみた潰瘍性大腸炎の長期経過

- 内山 和彦（うちやま かずひこ）¹⁾、高木 智久¹⁾、村上 瑛基¹⁾、内藤 裕二²⁾
1) 京都府立医科大学 消化器内科、2) 京都府立医科大学 生体免疫栄養学講座

06-6 D- アミノ酸を用いた炎症性腸疾患に対する新規治療法の開発

- 梅田 智子（うめだ さとこ）¹⁾、筋野 智久³⁾、宮本 健太郎¹⁾、吉松 裕介¹⁾、三田 真史²⁾、
金井 隆典¹⁾
1) 慶應義塾大学医学部内科学（消化器）、2) KAGAMI INC、
3) 慶應義塾大学医学部内視鏡センター

司会：下立 雄一（倉敷中央病院 消化器内）

LS5-1 ゼルヤンツのリアルワールドエビデンス（RWE）から考える最適な UC 治療

○石橋 史明（いしばし ふみあき）
国際医療福祉大学 市川病院

LS5-2 潰瘍性大腸炎治療における JAK 阻害薬の役割と可能性

○星 奈美子（ほし なみこ）
神戸大学医学部 消化器内科

共催：ファイザー株式会社